

平成 29 年度宇都宮市創造都市研究センター事業評価について

平成 29 年度宇都宮創造都市研究センターの事業について、センターを構成する大学・宇都宮市等から選出した 4 名の委員による「評価委員会」を平成 30 年 7 月 12 日に開催し、次の様な評価となりましたので、報告いたします。

平成 30 年 7 月 20 日

宇都宮創造都市研究センター評価委員会

委員長 長 島 重 夫

宇都宮市創造都市研究センター「中長期計画」に関する評価

<中長期計画の具体的施策及び達成度を測る指標>

施 策	H29	評価	H30	H31	H32	H33
大学間の連携（総合型大学の企画、検討）	○	B	○	○	○	○
同（創造都市形成と地域課題の研究）	○	A	○	○	○	○
同（単位互換）	○	A	○	○	○	○
同（共同授業）			○	○	○	○
同（共同教育プログラムの策定）			○	○		
同（FD・SD）	○	A	○	○	○	
同（人事交流）			○	○	○	
同（施設・設備の共同利用）			○	○	○	○
高大接続（高校、大学、自治体・企業等による協議等）			○	○	○	○
生涯学習（リカレント教育等）の推進			○	○	○	○
地域の国際化の実践的推進			○	○	○	○
公開講座の開催	○	A		○		○
産学官による地域活性化のための共同研究			○	○	○	
産学官連携による就職支援	○	A	○	○	○	○
総 合 評 価		A				

<評価>

～宇都宮市という活動しやすい一定のエリアを対象としているため、大学・宇都宮市・産業界等との連携が図れるほか、形成する大学の学術分野が多岐にわたるため特色化が図りやすく、計画は着実に実行されている。平成 29 年度の具体的施策については、創造都市の形成及び地域課題の研究、単位互換、FD・SD及びシンポジウムの開催、産学官連携による就職支援等の取り組みが着実に実行されている。

また、平成 30 年度に計画している具体的施策については、総合大学構想の検討のほか、

引き続き創造都市の形成及び地域課題の研究、大学間連携の在り方、高大接続に向けた検討、生涯学習や国際化の推進、産学官による地域活性化のため共同研究や就職支援等に取り組むこととしており、総じて着実な実行と目標に対する成果が期待できる。

※部会等の開催状況（平成 29 年 10 月 17 日～平成 30 年 3 月 31 日）

- ・運営委員会 6 回
- ・中長期計画策定等検討部会 2 回
- ・大学連絡会議 2 回
- ・宇都宮市との協議及び地域課題解決の研究 1 回
- ・地域活性化のための共同プロジェクト研究班 3 回

（評価基準）

S：計画を超え、目標を上回る堅調な成果が得られている。

A：計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。

B：計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。

C：計画の半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一部の見直しが必要である。

D：計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、取組や目標に関して抜本的な見直しが必要である。